

アパルトマンで 暮らすパリ by Tanjima

わが家はパリを旅する時、「アパルトマン」に滞在します。「アパルトマン」とは集合住宅のことです。現地の方たちが暮らしている現役のアパートなのです。ですから、ハワイなどの観光地によくある「コンドミニ



ウム」とは違い、短期間ではありますが、パリで暮らしている気分を味わうことができますのです。

わが家が利用するアパルトマンは、日本人オーナーが夏のバカンス期間中のみ日本人観光客に貸す物件や、日本の会社が所有し、日本人観光客向けに貸している物件などで、インターネットで予約をします。最近続けて利用したのは「パリ生活社」という会社が管理するアパルトマンで、最



アパルトマンから見えるエッフェル塔

低3泊から借りることができま。利用料金は安い物件だと光熱費込で1泊7千円くらいからありますが、まずまずの物件となると、1泊1万5千円以上となります。わが家の場合、1回の旅行で7泊前後滞在しますので、利用料金はおよそ10万円になります。

パリ生活社の物件は、ほぼすべてにインターネット

が完備されており、日本からパソコンを持参すれば、無料でネットにアクセスできます。ですから、旅行中も浦島太郎にならずに済みますし、現地から日本のみなさんに、旅の経過報告をすることもできます。

今年の7月に訪れた時は、私の希望で部屋からエッフェル塔が見える物件に滞在しました。この物件、エッフェル塔の眺望がすば



私の旅の友「モバイルVAIO」



自分たちで準備する朝食

らしいことが「売り」でしたが、残念ながらエレベーターがないのです。事前にわかっていたことではありませんが、毎日最上階の7階の部屋まで、狭い階段を上り下りするのはかなり大変でした。しかし、部屋に戻って窓からエッフェル塔を見ると、「ここに滞在してよかった」と思いました。アパルトマンに滞在すること、食事のバリエー

ションも増えます。朝食は事前に購入しておいたパンやヨーグルト、ジュースなどを食べたり、日本から持参したパックごはんなどを温めて食べたりします。夕食はレストランに入らず、スーパーで惣菜やレトルト食品を買ってきて食べるのとあります。フランスは意外にもレトルト食品を多く消費する国なのです。スー



ゴミ出しのマナーも重要

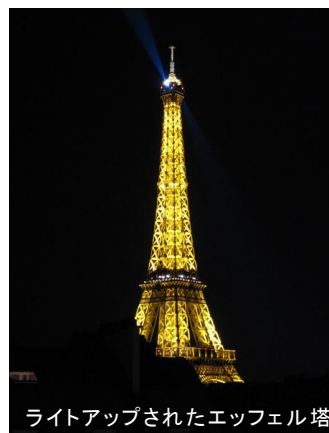


滞在中はマイホーム気分

パーには有名シェフが味付けしたレトルト商品も並んでいて、星付きレストランの味を安価で楽しむこともできます。滞在中はアパルトマンの鍵の管理から室の清掃まで、すべて自分たちの責任で行います。ですから、日本から到着した際に、管理会社の方から物件についての細かい注意事項を聞きま

こうして現地の人と同じ屋根の下で1週間を過ごすのも、なかなか粋な旅のスタイルだと自負しています。次回のわが家のパリ旅行がいつになるかはわかりませんが、滞在する物件を探すときから、すでにわが家の旅が始まるのです。

す。滞在中は私たちが住民ですから、ゴミの分別方法や、洗濯をしない時間は夜何時までかなど、物件ごとのルールを守らなくてはなりません。



ライトアップされたエッフェル塔